

JINBIZ REPORT

看護教員のキャリア教育・人材紹介の実績・ノウハウを活かす!

**看護系専門学校が導入を決めた
ミライブリッジの「入学前教育」の魅力とは?**

大学や専門学校で進められている入学後の学習不安を無くすための「入学前教育」の導入。「看護基礎教育」支援を事業目的に掲げ、看護教員のキャリア教育・人材紹介などを事業展開しているミライブリッジは、昨年末から東京女子医科大学看護専門学校で入学前教育講座をサービス提供している。看護教育に特化した同社ならではの講座の特色など、その取り組みに着目してみたい。(レポート 伊藤秀範)

導入が進む「入学前教育」

文部科学省が各都道府県教育委員会教育長等に通知する「入学前教育推進実施要領」の注釈事項の中に、次のような一文がある。「入学前教育は、入学手続き完了後に行うべきであり、必要に応じて、これら者の出身高等学校と協力しつつ、入学までに取り組むべき課題を履修する。入学後の学習の準備をあらかじめ進めようとするべきである。」

AO入試や推薦入試、社会人入試など短期間に入試や入学に合格した入学予定者や、入学後に入学した入学予定者などを含め、入学後の学習の準備を促すことを目的とした「入学前教育」の導入が、近年増加している。

看護系専門学校が導入を決めた

東京女子医科大学看護専門学校
所在地：東京都豊島区西尾久2-2-1
校長：高木保一
主 事：廣門三子
教育年次：3年（全日制）
学生数：274人
教育理念：東京女子医科大学の建学の精神である「家庭と愛」に基づき、女性の自立と職業の専門性を高めることを通じて、主体的に学習し、生涯にわたる自己教育能力を身に付け、社会に貢献し続ける人材を育成する。

「看護系専門学校」で入学前教育の導入が、近年増加している。

「看護系専門学校」で入学前教育の導入が、近年増加している。

「看護系専門学校」で入学前教育の導入が、近年増加している。

本誌 2018 年 9 月号に掲載したミライブリッジのレポート

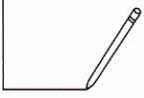
ともありました。3年前まではそういう印象がととても強かったのです。

ただ、新型コロナウイルスの拡大は、教育現場のそうした古い体質をも大きく変えるほどのインパクトがありました。オフラインでの教育が前提というスタンスは変わらない一方で、『オンラインの流れにも乗る必要があるのではないか』という柔軟な受け止め方も広がっています。そんな印象があります。

コロナ収束後はハイブリッド型に

さらに森田氏は、今後、新型コロナウイルスが収束していった場合における、eラーニングによる「入学前教育講座」の展望についても、次のような予測をする。

「新型コロナウイルスが収束すれば、オフラインに逆戻りするという流れ



も、ある程度は想定しています。ただ、オフラインにすべてが逆戻りするのかもしれない、そうではないかと思っています。やはり今回の新型コロナウイルスもそうですが、今後また何かしらの災害が起こらないとも限りません。そのたびに授業が止まってしまふことへの懸念は、看護教育に限らず、多くの教育現場が今回の新型コロナウイルスで強く教訓として認識されたのではないのでしょうか。

むしろこの経験を糧にして、何か災害が起きたときにはいつでもオンラインに切り替えて、授業を中断せずに学生への教育を継続していける仕組みを模索するムードは高まりつつあります。いわばハイブリッド型の教育システムという形で、オンライン教育は対面での授業と併存していくのではないかと考えています。

同社では現在の「入学前教育講座」の導入推進と併せて、まだまだ遅れている看護教育現場における「オンライン授業」の導入支援に向けた取り組みも計画しているという。

「当社のビジネスは、徐々に人材系ではなく、eラーニングの会

社になりつつあるようです」と、森田氏は笑う。

人材紹介は対面であるべき

そうしたeラーニングを活用したオンライン教育に注力する同社であるが、キャリアコンサルタントとしての森田氏の胸中となると、やや複雑なようだ。

「人材紹介はやはりオフライン、対面であるべきだと思っています」。

長年、看護教員のキャリア支援を中心に、人材ビジネスに取り組んできた森田氏なりのこだわりの一つが、その「対面での職業相談」である。



長年、看護教員の人材紹介を続けてきた中においても、まずはその人材の「人となり」は対面で直に会って確認する必要がある。それが森田氏の人材紹介における外せない鉄則である。

「学校の教員になりたいという人を紹介するわけですから、その